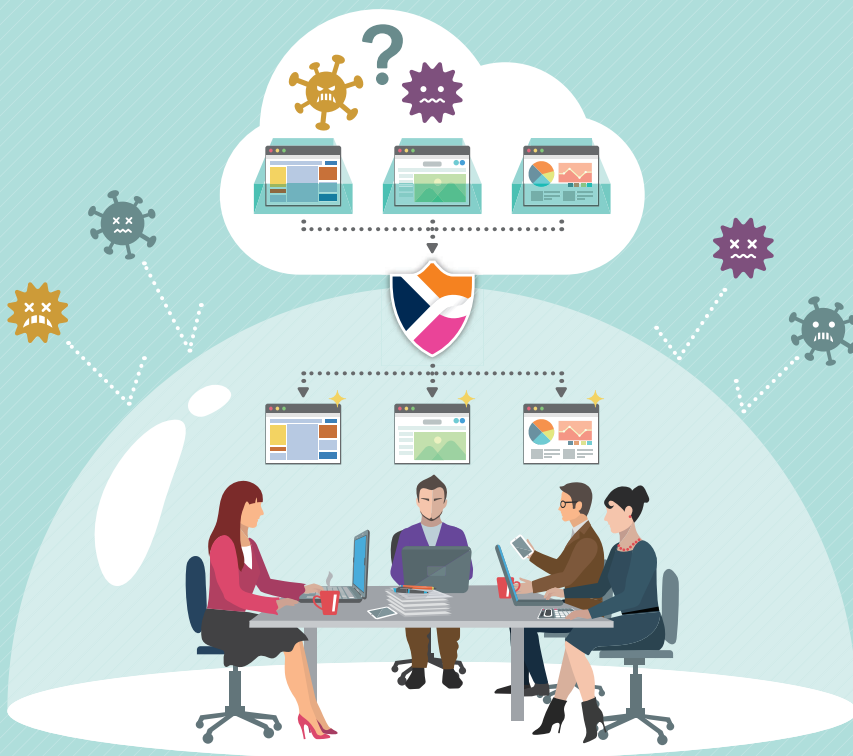


ユーザーがよろこぶ、**新**インターネット分離

Ericom Shield

Webの脅威はリモートブラウザで**完全分離**



IPAの調査によると、組織ネットワークにとってインターネットは一番のマルウェア感染源であり、8割以上のマルウェア感染がインターネット経由で発生しています。組織のサイバー攻撃対策の現状は、様々な検知型セキュリティソリューションを積み重ね、侵入時、実行時、実行中、または感染後にマルウェアを検知して止めるというアプローチですが、この対策はランサムウェアや様々なサイバー攻撃に対して有効に機能しているとは言い難い状況です。

そこでサイバー攻撃の大元であるインターネットと内部ネットワークを分離し、分離時のユーザー利便性低下を防止するリモートブラウザ分離（アイソレーション）ソリューションが登場しました。

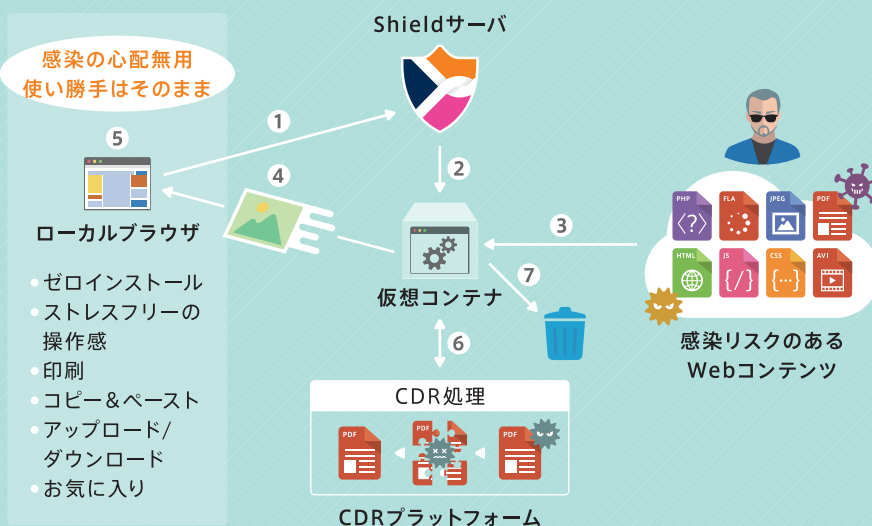
Ericomのリモートブラウザ分離ソリューションは、現存する様々なセキュアブラウジングソリューションの課題を克服した理想的なソリューションです。

Ericom Shieldの仕組み

組織内ネットワーク

リモートブラウザ環境/DMZ

インターネット



処理フロー

- ① エンドポイントからのインターネットWebサイトに向けたhttpリクエストをEricom Shieldがプロキシサーバとして受け取ります。
- ② Ericom Shieldがアクセス制御を実行し、一つのセッション（ブラウザタブ単位）に対して一つの仮想コンテナを割り当てます。
- ③ 全てのWebコンテンツが仮想コンテナ内の専用ブラウザによって実行され、レンダリングされます。
- ④ レンダリング済の害のない画像ストリームのみエンドポイントのブラウザに送られます。
- ⑤ ユーザーはEricom Shieldをまったく意識せずに従来通りブラウジングできます。
- ⑥ Webからダウンロードするドキュメントは、CDR※プロセスを経て無害化され、シームレスにエンドポイントにダウンロードされます。
- ⑦ ユーザーがローカルブラウザのタブを閉じた際、または事前に設定したタイムアウトを超過した際に仮想コンテナが破棄されます。

※Content Disarm & Reconstruction

LinuxコンテナにWebの脅威を完全に封じ込め

Webコンテンツ内の感染リスクのあるコードを隔離されたコンテナ上で実施。

HTMLファイル、JavaScript、CSS、フォントファイルといった全てのWebコンテンツを組織内ネットワークとは隔離されたDMZ等のLinuxコンテナ上で実行し、レンダリングされた後の一切感染リスクの無い画面ストリームをエンドポイントのブラウザに転送します。



ページの見え目、使い勝手は同じでも、実行ソースを見ればこんなに違う。

あるWebサイトのソースコード



JavaScript、CSSスクリプトの数 ▶ **150** 以上
外部サイトから読み込んだソースの数 ▶ **20** 以上

Shieldを経由したソースコード



安全なShieldのJavaScriptだけを実行

JavaScriptの数

▶ **4**
▶ **0**

外部サイトから読み込んだソースの数

製品特徴

ユーザーへの業務インパクトゼロ

今まで通りのブラウジングで、100%安全なブラウジング。



リモート・ブラウザ分離

DMZやクラウド上の外部ネットワークでリモートブラウザ実行。ローカル分離より扱いやすく、セキュアブラウザより安全。



Linuxプラットフォーム利用

可用性、運用性、拡張性を向上しつつ、ライセンスコストを削減。

※オプションでリモートブラウザにIEを利用可能。



マルチデバイス対応

Windows、Mac、タブレット等、あらゆるデバイスに対応。



最高の脅威分離レベル実現

タブごとにコンテナを利用。利用後や指定時間経過後に削除。



ファイル無害化のVOTIROが同梱

ダウンロードドキュメントをシームレスに無害化。ファイルタイプが変わらず、編集が可能。



全ての立場の人にメリットを提供

MERIT 01

エンドユーザ



今までと変わらないブラウザ体験を提供します

MERIT 02

経営層・CIO・CISO



経営リスクであるサイバー攻撃から大切な情報を守ります

MERIT 03

IT・セキュリティ担当者



組織内ネットワークにマルウェアが侵入する可能性が極小化します

MERIT 04

CSIRT/SOC



セキュリティインシデント数が激減します

株式会社アシスト

E-Mail sk_info@ashisuto.co.jp

Ericom Shield

東京	〒102-8109 東京都千代田区九段北4-2-1 市ヶ谷東急ビル	TEL:03-5276-3653
札幌	〒060-0003 札幌市中央区北3条西4-1-1 日本生命札幌ビル13	TEL:011-281-1161
仙台	〒980-0013 仙台市青葉区花京院1-1-20 花京院スクエア 19F	TEL:050-3816-0970
名古屋	〒460-0003 名古屋市中区錦1-11-11 名古屋インターシティ 4F	TEL:052-232-8211
金沢	〒920-0853 金沢市本町2-15-1 ポルテ金沢 8F	TEL:050-3816-0972
大阪	〒530-0011 大阪府北区大深町4-20 グランフロント大阪タワーA 13F	TEL:06-6373-7113
広島	〒730-0011 広島市中区基町12-3 COI広島紙屋町ビル 3F	TEL:050-3816-0974
福岡	〒812-0013 福岡市博多区博多駅東2-6-1 九勸筑紫通ビル 9F	TEL:092-481-7156
沖縄	〒900-0014 那覇市松尾1-10-24 ホークシティ那覇ビル4F	TEL:050-3816-0976